



第二宝湯

荻窪地域区民センターエリア内に2件ある銭湯のひとつ、広報紙「わたしのおきくぼ」が置いてある「第二宝湯」三代目に話を伺いました。

昭和24年に開業、昭和53年に建替えた「第二宝湯」は住宅街に位置する地元密着の銭湯です。初代が開業した第二宝湯を先代から三代目が継いだのは9年ほど前。10年先を見据えた銭湯づくりを目指し、日々取り組んでいます。

高さ18.5m、直径約1.5mの煙突に夕日が当たる姿は美しく郷愁を誘います。

★銭湯と言えば「富士山」

男湯・女湯の壁一面に富士山の絵が描かれています。富士山は日本の象徴であり縁起物、やはり落ち着きますね。銭湯絵またはペンキ絵といいますが、絵師は現在日本に2人だけです。令和元年当時現役であった丸山銭湯絵師による雄大な富士山と桜。湿度の高い浴室では絵の傷みが早いことから、ロビーの壁面に描いてもらいました。



明るいロビーの壁一面に描かれた富士山
ビーで銭湯絵師の技術を堪能してください。

午前0時の営業終了から午前2時まで毎日の徹底した清掃で、気持ちよく磨き上げた明るい浴室で、ゆっくりと入浴を楽しめます。ちょっと熱めのお湯でさっぱりとした入浴ができるよう、湯船の温度に気を遣っています。

水風呂は地下深度93mから汲み上げる地下水のかけ流しです。

汲み上げた水はクリアで柔らかないそうです。



夕暮れの煙突



浴場の富士山

★オーナーのこだわりが満載

牛乳・ラムネ・ガラナ・クラフトビールなど、お風呂上がりには飲む飲料はリサイクル瓶にこだわっています。

昭和24年当時のレトロな体重計は乗るのに緊張しそうです。



★オーナーの思い

入浴の文化や機会を無くしたくない、銭湯を次世代に残していきたいです。人が入り出ていくことで力をもらい、生き活きた販わいにもなります。その時代の人々が通いたい銭湯にしていきたいです！



★入浴料金(税込)

大人:12才以上/550円

中人:6才以上12才未満(小学生)/200円

小人:6才未満(未就学児)/100円

奈良時代に始まった仏教寺院の施浴から、公衆浴場としての銭湯(湯屋)文化が誕生したのは江戸時代に入ってから。衛生・娯楽という側面もありつつ、思いっきり手足を伸ばしての入浴は最高のリラックス、身近な非日常を楽しめる場所……それが銭湯です。

「同じ釜の飯を食べる」という言葉があるように、「同じ風呂の湯に浸かる」という言葉もいいのでは！

たまには銭湯で温まりましょう。

第二宝湯

●住所:杉並区本天沼2-7-13 ●電話:03-3390-8623

●営業時間:15:30~24:00 ●定休日:金曜日